

JFA 夢フィールド 芝の苗植えイベントを開催

日本サッカー協会 (JFA) では来年 3 月の完成を目指して、幕張海浜公園 A ブロック内にトレーニングセンターを建設中です。「夢フィールド」と名付けられたこのセンター。完成すれば日本のサッカー界にとって一大拠点となり、国内外の一流選手が利用する施設になります。

このセンターでは現在ピッチの整備中で、先日 (6 月 29 日) 芝の苗植えイベントが開催されました。イベントにはベイタウンニュースも招待され、ニュース局員イチのサッカーフリーク板東がレポートしてきました。【板東】

この苗植えイベントには、高円宮憲仁親王妃久子殿下、田嶋幸三 JFA 会長、森田健作千葉県知事、熊谷俊人千葉市長、吉田麻也選手 (サウサンプトン FC)、酒井宏樹選手 (マルセイユ)、澤穂希さん、宮間あやさん (ともに元なでしこジャパン) など多くの著名人が参加、JFA のこの施設にける期待度の高さを感じます。

あいにくの梅雨空でしたが、事前公募の一般参加者 226 名を含む約 300 名の参加者が、11,200 m²のフィールドに 50,000 株のポット苗の植え付けを行いました。イベントには、多くのベイタウン住民も参加していた模様で、インタビューさせて頂いた方の中でも、ベイタウン住民の比率は高かったです。

植えられた芝は、16 週間で育つそうで、その様子は、JFA のホームページ (<https://www.jfa.jp/nfc/>) から定点カメラで見られるとのことなので、参加された方も参加されなかった方も、見守って行きましょう。

田嶋会長に近隣住民への一言を頂くと、「芝に慣れ親しんだお子さんを育てる、親御さん方も一緒にボールを蹴られるような所にしたいと思っています。こう言うては何ですが、ここは以前は鬱蒼としていて、夜も散歩しづらそうと感じていましたが、このように開けた空間になったので、安全に散歩したり、練習を見たりで集まって頂ける場になればと思います。今後も、このように地域の方と集えるイベントを開けるように考えていきたい」とのことでした。

また、サウサンプトンの吉田麻也選手は、「自分で植えたので、愛着が湧きそうです。地元の皆さんに協力してもらい、たくさんの思いが籠ったフィールドになりそうで、楽しみにしています。これまで、都内近辺にトレーニング施設がなかったことに不自由していましたが、東京からも成田からも羽田からも近い所に、このような施設ができることは選手にとってもプラスになります」とにこやかに語ってくれました。



参加した子どもと笑顔で植え付けする吉田麻也選手と酒井宏樹選手。後ろは建設中のクラブハウス。

なお、以前チラシが配られていたの、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、JFA では建設費用の一部をまかなうための寄付を募っており、5,000 円以上で Web 芳名帳への名前掲載、10,000 円以上で施設内へネームプレート掲出、30,000 円以上でネームプレート + 内覧会招待、

100,000 円以上でネームプレート + 開所式招待だそうです。

まだまだ目標額には届かないので、応援頂ける方は是非お願いします、と JFA の方がおっしゃっていました (寄付は前記ホームページ URL からできます)。



来賓・ゲストの皆さん。



船橋から参加した女の子。澤さん、宮間さんとおしゃべりしながら、楽しそうに植えていました。かぶっているのは、お母さんがこの日のために作った特製品です。



グリーンナから参加のながおさん夫妻。奥様は新習志野の秋津サッカー場にも代表の練習を見に行く自称ミーハー。「完成したら身近で見られるので、楽しみ」



ミラマールから参加の中さん親子 (お父さんと杏成くん、絢音ちゃん)。今は野球好きだけど、これを機に、このピッチに立つことを目指す?

子ども記者が伝える

今僕の学校では…

農山村留学の思い出

No. 33

美浜打瀬小編



美浜打瀬小学校では6月17日（月）～19日（火）の2泊3日で、大房岬少年自然の家に農山村留学に行ってきました。ペイタウンを離れ、大自然の中で友達と様々な活動をし、充実した3日間にすることができました。その3日間の思い出を綴りました。

磯遊び 6年1組 瀧口永菜

私が農山村留学で楽しかったことは、磯遊びです。磯遊びではたくさんの生き物と触れ合うことができました。

南房総の海では、カニ、ヤドカリ、ムラサキウニを観察することができました。私たちは運も良く、大きなタコやウツボも見ることができました。

砂浜には、ビンなどのガラスの破片が波に流されながら石に当たり、角が丸くなったシーグラスというものもありました。また、色とりどりの貝殻もたくさんありました。中には三色混じったものや、青い貝がらもありました。

このようにペイタウンでは見ることができない生き物をたくさん見たり、実際に触ったりすることができ、とても貴重な体験になりました。今まであまり意識していませんでしたが、海はたくさんお生き物のすみかになっていることに気づき、私もこれから、海を大切にしていきたいと思いました。

農山村留学を通して

6年1組 大橋 悠奈

農山村留学では、近くの海に行って磯遊びをしました。海の浅いところにたくさんのヤドカリや、小さい魚がいました。ペイタウンの海よりもとてもきれいでおどろきました。ペイタウンの海もきれいになるように、もっと自然を大切にしようと思いました。

他にもキャンプファイヤーや、演芸大会、地引網などの活動をしました。特にキャンプファイヤーでは、ゲームだけではなく、フォークダンスもしました。マイムマイムを踊り終わったときに、みんなが「もう一回」と言って、三回も踊りました。とてもつかれたけれど、楽しかったです。クラスや男女の垣根を越えてみんなで盛り上がり、仲を深められました。

この農山村留学では、ペイタウンには少ないたくさんの自然の仲で、様々な活動することができました。また、学校よりも長い時間を友達と過ごし、友達の新たな一面や良さを知ることができました。

初めてのうちわ作り

6年1組 吉田 大峨

農山村留学で房州うちわ作りを体験しました。これまでぼくは、うちわに興味がなく、いつもプラスチックでできた駅で配られているような物を使っていました。

ぼくたちのために、工房の方が様々な模様の紙や貴重な竹を用意してくれました。お話しの中で、房州内輪が日本三大うちわの一つであることや、骨組みで使われている竹の多くが、今は中国産だということを知りました。日本産の竹は、しなりがあって、たくさんの風を送ることができるそうです。今回は日本産の竹を用意いただきました。うちわの骨組みを均等に分ける作業では、一本ずらすと他のところの間かくもずれてしまったり、ふちに和紙をはる作業は、とても細かく、のりが乾く前にはらなければいけなかったりと、難しくて細かい作業がたくさんありました。

初めてうちわを手作りすることができ、とても嬉しかったです。このうちわは二十年、三十年と使えるそうなので大切にしたいです。

私の楽しかった農山村 長尾 莉紗

私が農山村で楽しかったことは一日目のアドベンチャーポイントラリーと三日目の野外炊飯です。

一日目のアドベンチャーポイントラリーでは、大房岬公園を班のみんなで回り、問題を解いたり、先生の課題に取り組んだり、楽しい班での活動ができました。自然の虫が沢山いて、自分達の住んでいるペイタウンでは見つけられなさそうな虫もいました。豊かな自然の雰囲気を感じることができてよかったです。

三日目の野外炊飯では、最後の日だったので、活動班のみんなで今日りょくしてカレーを作ることができました。私はジャガイモとニンジンをおさめに切って、少しでもみんなの口に合うサイズにするためにがんばりました。学校で学習したことを生かして作ることができました。

こうして私の楽しかった農山村が終わりました。六年になってからまだまだ学ぶことがあると思うので、今回の農山村留学を生かしてこれからもがんばっていききたいと思います。

今年は小雨下で決行 「第6回流しそうめん」

今回で第6回になる「流しそうめん」大会が7月13日（日）、ペイタウン・コア中庭で行われました。残念ながら今年は小雨のため、今年は子どもルーム横の庇（ひさし）のある部分での開催となりましたが、それでもたくさんの親子連れが集まりました。

雨のため、「60人も集まれば・・・」と

雨空をうらめしそうに見る主催した山口さんの予想に反し、結局集まったのは確実な数字で85人。子どもだけの受付だったので、大人を含めると200人ほどが流しそうめんや水鉄砲、すいか割りを楽しみました。流しそうめんはペイタウン7月の風物詩になりました。来年も期待しています。



災害時 ベイタウンは大丈夫？

7月初旬の九州での豪雨では、広範囲に避難指示が出されました。その結果、施設が満員で自家用車の中で寝泊まりしたり、複数の避難所を渡り歩かざるを得なかったり、というような問題が報道されていました。ベイタウンは災害のとき大丈夫なのでしょうか。幕張ベイタウン自治会連合会の防災委員、森川さんに聞いてみました。【小原】

— 大地震や津波災害がおきた時、ベイタウンには避難所はできるのですか。

「避難所は、打瀬小、海浜打瀬小、美浜打瀬小、打瀬中、そしてコアが本部ということで千葉市から指定されています。ただし、ここは頑丈な鉄筋コンクリート構造のマンション群ですから、全ての人が避難する必要はなく、『在宅避難』が基本です。身体の事情により自宅での生活が困難な場合や、重度のケガ人、自宅が大幅に破損した場合に避難所を利用してもらいます。その他に救援物資の集積・配布という役割や各街区の被害状況の情報を共有する中心地ともなります」。

— では、避難するときは近所の学校に行けばいいのですか。

「学区とは違う街区があるのでホームページで確認しておいてください」。

— 避難所開設・運営計画はどう作っているのですか。

「防災委員会では、マニュアルを作成し

て3年前から避難所開設訓練を行ない、反省をもとに見直しをしています。不具合を探し出し、改善して次へつなげていくのも訓練の目的の一つです」。

— 避難所は誰が開設・運営するのですか。

「訓練ではもちろん防災委員会や各街区担当者が中心となりますが、現実には担当者が決めてあっても、災害は日時を選んでくれません。例えば平日の日中に大地震が起きれば多くの働きざかりの世代は東京などの遠方に足止めされ、残っている住民(主に女性と高齢者)が率先して避難所を運営することになります」。

— そういえば東日本大震災の時も、避難所で避難者の方も炊き出しやトイレ掃除、物資の分配など様々な仕事を分担していました。みんなで助け合うということですね。

「そうです。ホスト・ゲストという区別はなく、それぞれができることを分担し合うのが基本的な考え方です。そこで、8月

25日の避難所開設訓練では、皆さんに避難所開設ではどんなことをするのか体験してもらいたいと思います。一般参加者の集合は10時ですが、希望の方は9時に集合すると防災委員と開設準備の段階から体験できます」。

— 他に、今回の訓練の特徴は何ですか。

「もう一点、ペットの同行避難という問題があります。現在何もガイドラインができていないので、訓練後に22番街のベイタウンペットクリニックの防災担当をお迎えしてシンポジウムを開きます。ただし、当日はペットなしで参加してもらいたいのので、よろしくお願いします」。

どうも避難場所に集合して消火訓練や救急救命法を学ぶという従来型の避難訓練のイメージとは違うようです。また、大災害の時は全ての人が「被災者」になるので、その中でお互いにできることを補い合い、助け合うという姿勢が大切なのだと改めて強く感じました。

備えあれば憂いなし。家族で防災に取り組むきっかけとして参加・体験してみましょう。

・避難所開設訓練：8月25日(日)10時～打瀬中学校アリーナ(体育館)に集合
・ペット同行避難に関するシンポジウム：11時から30分程度を予定



夏休みラジオ体操始まる 今年のリーダーは？

今年も夏休みラジオ体操が7月14日(日)から始まりました。千葉市では学校のエアコン設置がこの夏に行われるため、全国の小中学校よりも1週間早く夏休みが始まり、ラジオ体操も全国に先駆けての開始です。といっても今年は雨つづきで初日の14日から16日まではグラウンドは水浸し、でも熱心な子どもたちは雨の中でも会場となった美浜打瀬小にやってきて毎日50人ほどが屋根のある廊下部分でラジオ体操を行いました。

正式なラジオ体操開始はやっと雨が上がった17日(水)。この日が初めてリーダー

が朝礼台に登壇しての体操開始です。

今年リーダーに手を挙げたのはベイタウンの3小学校からの18人。今年はスタート時から体操のレベルが高く、本番前の海浜打瀬小ピロティで行われた3回の練習会で、初日からもう直すところがないほど綺麗な体操をする子もいました。こんな年は指導する鎌田さんも燃えるようです。つい熱が入って例年なら見過ごされるような細かい動きまで厳しい言葉で指導され、一時は子どもたちが萎縮しないかと心配するほどでしたが、今年のリーダーたちは「打たれ強い」ようです。みんなの前で厳しく名指しで指導されても翌日には注意されたことを直してきました。

このニュースが配布される8月3日にはラジオ体操の前半は終了しています。前半の半分近くを雨にたたられた夏休みラジオ体操。後半はスッキリした青空の下、元気な子どもたちの姿が見たいものです。後半のラジオ体操は8月25日(日)から海浜打瀬小校庭です。ぜひおいで下さい。



コアフェスタ 11/2、11/3に開催決定

恒例のコア・フェスタ。今年はコア・フェスタが11月2日(土)、11月3日(日)の2日間の予定で開催されます。

コア・フェスタはベイタウン・コアで活動する30以上のサークルが、コンサートや発表会、作品展示などを行う楽しい2日間です。当日は「子どもサイクルリサイクル」や「お茶会」などの屋外イベントの他、フードコートやフリーマーケットなどのイベントも目白押しです。ぜひおいでください。

コア・フェスタの詳細はベイタウンニュース9月号でお知らせします。フリーマーケット出店募集と「子どもサイクルリサイクル」への自転車募集も9月号です。





つどいまびつなぐ ベイタウン・コア / 公民館通信

●館長イチ押し！ 夏休み体験教室② 8月2日受付開始

その1：親子体験

「夏休みの思い出のアルバム作りに挑戦」

日時：8月28日（水）10：00～12：00

場所：打瀬公民館工芸室

講師：アルバムの会の皆さん

対象：就学前児童～小学生親子

（定員：先着8組）

費用：お子さん一人 1000 円



その2：親子体験

「さかさ万華鏡づくり」

日時：8月29日（木）13：00～15：00

場所：打瀬公民館工芸室

講師：寺子屋工作ランド

鎌田 繁 先生

対象：就学前～小学生4年生親子

（定員：先着15組）

費用：無料



その3：

「おこづかいの話と預金箱づくり」

日時：8月30日（金）10：00～12：00

場所：打瀬公民館工芸室

講師：県金融広報アドバイザー

対象：小学1年生～3年生

（定員：先着30名）

費用：無料



●館長イチ押し！ 主催講座～9月2日受付開始

公民館では、昨年度好評の「親子ふれあい教室」を充実させ、0歳～1歳児と保護者を対象に「子育て教室2－離乳食とアレルギー相談」を開催します。皆様の参加をお待ちしています。

◇講座内容

その1：子育て教室1

親子ふれあい教室（全2回）

日時：9月18日（水）、25日（水）10：00～12：00

場所：打瀬公民館講習室

講師：美嶋 稲美 先生

（UFOキッズサークル講師）

対象：1、2歳児と保護者

（定員：先着20組）

費用：教材費200円（2回分）



その2：子育て教室2

離乳食とアレルギー相談

日時：9月26日（木）10：00～11：30

場所：打瀬公民館和室

講師：千葉市子育て支援館講師

対象：0、1歳児と保護者（定員：先着20組）

費用：無料

その3：大人の科学教室

ポンポン蒸気船を作ろう

日時：9月28日（土）

14：00～15：30

場所：打瀬公民館工芸室

講師：くらりか講師（蔵前理科教室ふしぎ不思議）

対象：成人（定員：先着24名）

費用：教材費200円

◇申し込みの方法

それぞれの受付日に直接打瀬公民館窓口または電話で

〈問い合わせ〉打瀬公民館 電話 296-5100

時間は9：00～17：00

8月のコア・イベント

わくわくおはなし会 8月の常設おはなし会は夏休みのためお休みです。

次回のおはなし会は

日時：9月21日 第3土曜日 午前10：30～

場所：ベイタウン・コア講習室

次回もわくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

第185回ファツィオリの会

日時：8月25日（日）午前9：30～

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

受付締め切り：8月18日（日）

申込先：09brillanteaki@gmail.com（庄司） fax: 043-276-4266

8月のベイタウンかふえ

8月はお休みさせていただきます。

次回は9月11日（水）にお会いしましょう。

熱中症にならぬよう、お身体大事にしてください。

問い合わせ：うたせ認知症を考える会

中澤（TEL：211-0588）

8月24日（土）寺子屋工作ランド

「ぶんぶんごま」

日時：8月24日 第4土曜日 午前9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア工芸室

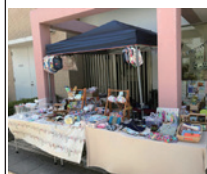
ぶんぶんごまにいろをつけて回してみよう。

どんないろになるだろう。

持ってくるもの：はさみ、えんぴつ、クレヨン、いろがみ、サインペンなど

参加費：50円（保険料）

キュービックカフェ 8月・9月のイベント・ワークショップ



毎月9日はキュービックの日！

『キュービックマルシェ』開催

<8月> 8/9（金）11時～

8/26（月）出張マルシェ@TENT 幕張

<9月> 9/9（月）11時～



イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ
<https://www.cubic-cafe.com/>